

にぎわい通信



唐津港

「2012年麗水世界博覧会」に唐津港から行こう！

九州からは、唐津港より

『「2012年麗水世界博覧会」に唐津港から行こう！』と『倉庫イベントの話題』と『海岸に打ち寄せられる漂着物』について、ご紹介させていただきます。

平成24年5月12日（土）～8月12日（日）の93日間、大韓民国全羅南道麗水市（ヨス市）において海洋を舞台とした世界博覧会が開催されます。

テーマは「生きている海と沿岸：資源の多様性と持続可能な活動」、麗水市の海岸沿い約25ヘクタールの会場敷地に、Big-O、国際館、海洋生物館などが建設され、専用の国際客船ターミナルと大栈橋を備えます。



麗水世界博覧会 鳥瞰図

麗水市と唐津市は、玄界灘と対馬海峡を挟んだ対岸に位置し、昭和57年に姉妹都市の締結を行い、博覧会が開催される平成24年に30周年を迎えます。また、職員相互派遣合意書を交わし、これまでに16名ずつの派遣と受入を実施し、現在も世界博覧会の成功のため相互に活躍されています。



麗水世界博覧会マスコットの「ヨニ」（左）、「スニ」（右）と、唐ワンくん（唐津市長）に囲まれて「共同宣言」を発表する金忠錫麗水市長（左）と坂井俊之唐津市長（in 唐津市役所）

今回の博覧会に向けて、今年7月、両市長によって「世界博支援の共同宣言」が調印され、約三か月の期間中には、EXPO会場において唐津市がシティプロモーションを展開するほか、唐津港から博覧会会場（麗水港）への直行便運航の計画もあります。



麗水世界博覧会 佐賀県庁でPR

運航日程などの詳細はまだ発表されていませんが、高速船やクルーズ客船に乗って、史上初の海洋を舞台とする博覧会に参加する魅力あるツアーが検討されています。

是非、唐津港～麗水港の直行便に乗って麗水世界博覧会へ行きましょう。

博覧会マスコットのヨニ&スニも待ってますよ。

ニタ子三丁目倉庫イベント「been to HOME～そいガツでヨカさ～」！！

平成23年10月2日（日）、唐津港東港「みなとオアシスからつ」に隣接する海辺の空き倉庫（ニタ子三丁目倉庫）で、まちおこし団体主催のイベントが開催され、予想を上回る1,000人以上の方々が来場されました。

倉庫は昨年6月に唐津市が寄贈を受けたもので、市民協働による海辺のにぎわい創出を目指す唐津みなとまちづくり懇話会が活用方法の検討を進めていました。



売り切れ続出の海辺カフェ

今回、30代の飲食店経営者などで作るまちおこし団体「GATSU FACTORY」から活用策が提案され、その第一弾となるイベントは、フリーマーケット、クラフト販売、写真展、海辺カフェ、そして音楽ライブなど、倉庫が新たな海辺の賑わい発信基地となるべく多様な楽しみ方が盛り込まれた催しとなりました。

フリーマーケットでは、洋服や雑貨などの掘り出し物を狙って開店前から物色が始まり、10時の開店と同時に値段交渉がスタート。あっという間に、



倉庫で開催されたフリーマーケットの様子

たくさんの戦利品をかかえた来場者で会場が埋まっていきました。

クラフト販売では、地元主婦などの手作りアクセサリや雑貨、小物などなど、ハイクオリティーな品々が来場者を魅了し、目移りしつつも目当ての品物を吟味する姿があちこちで見受けられました。

写真展は唐津の作家、宮崎幸子さんによる日常のなにげない風景をとらえた心和む写真が展示され、「子供たちと描いた未来の唐津」と題された絵画は来場者の関心を集めていました。

海辺カフェは、まちなかの人気おしゃれカフェ3店が、海辺を眺めながら楽しめるメニューで出店され、行列ができるほどの盛況ぶりで、売り切れ続出でした。

音楽ライブは、地元シンガーソングライターのはちみつボイス☆知展さんを始め6組が出演。海をバックにしたステージから、笑顔がひろがる音楽で盛り上がり、来場者には青空のもとで音楽ライブと海辺カフェを一度に楽しめるという贅沢を堪能いただけたようです。

ところで、主題の「been to HOME」、副題の「そいガツでヨカさ」の意味は何でしょう。Been to HOME は、唐津の海辺に対し「やっぱりここが、故郷（我が家）なんだ」、「誰にとっても、ここは故郷（我が家）に成り得るんだ」という想いが込められた造語で、そいガツでヨカさは、唐津の方言なのですが「そのくらいでいいよ」に近い意味あい、「自分たちでやれそうなところからやってみよう！」というGATSU-の理念を表現したものだそうです。団体名もこの“ガツ”が語源だとか。

一過性ではない身の丈活動を目指す、唐津の海辺が大好きな唐津っ子が、唐津の『飾らない海辺の魅力そのまま』を伝えたくて開催したイベントは、「次の開催日はいつ？ 募集開始日はいつ？」と、来場者からも、そして出店者からも期待の言葉が次々と寄せられ、「GATSU-」メンバーも継続的な企画展開に手応えを感じていました。

今後も、身の丈活動で、来場者を楽しませてくれそうです。



二タ子三丁目倉庫外観の風景



海辺カフェと音楽ライブでひととき



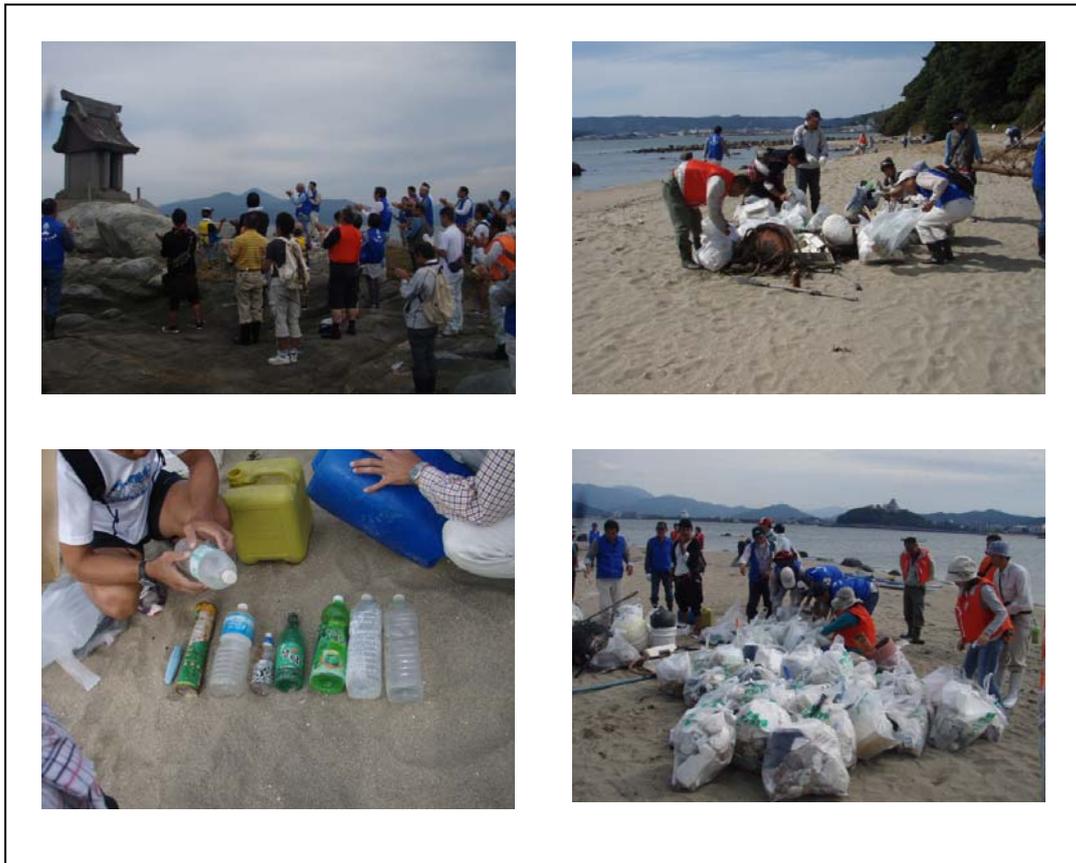
海岸に打ち寄せられる漂着物について

平成23年9月25日（日）、唐津湾に浮かぶ無人島「鳥島」において、鳥島を語ろう会主催による『秋の鳥島清掃』が開催されました。

当日、島へは屋形船で近づき、小舟に乗り換えて上陸。はじめに、島に祀られている弁財天に、日ごろの海の安全を感謝し、唐津の海がこれまでどおり豊かであることを祈念する式典が催されました。

引き続き実施された海岸清掃では、約1時間30分の活動で、可燃物袋40袋（約100kg）、不燃物袋10袋（約50kg）の漂着物が回収されました。

大きいものでは、タイヤやブイ、網などもあり、ポリタンクやペットボトルの中には外国語表記のものも漂着していました。



「秋の鳥島清掃」の様子